

事業名	自主防災組織育成事業	総事業費	2,607 千円
-----	------------	------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	防災・危機管理の充実
	基本事業名	自助・共助の強化

② 実施 (Do)

事業の意図		防災活動を活発に行い、自助・共助の強化を図る。
事業の実績 と成果	取組内容	3月に震災対策訓練を実施し、1,417名の参加があった。 補助事業では備蓄用の飲料水を主に購入し、各校区防災倉庫への分散備蓄を行った。
	成 果	下西校区防災会の避難訓練、地区防災計画見直し、個別避難計画作成等の取組が評価され消防庁が主催する「防災まちづくり大賞」を受賞した。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	下西校区防災会が防災まちづくり大賞を受賞した。避難訓練、地区防災計画、集落避難計画、避難行動要支援者名簿、個別避難計画作成等の一覧の防災に係る取組について、評価されたものである。その原動力となったのが、区長と集落支援員の防災意識の高さと行動力である。下西校区での取組をモデルとして、他校区へ展開していかなければならない。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	下西校区が消防庁主催の「防災まちづくり大賞」を受賞したことは大変喜ばしく、他校区においても刺激となる事例となった。 今後も避難要支援者情報を整理し、状況に応じ避難行動計画を策定することで、自主防災会等との連携によりスムーズな避難ができるものとする。

④ 改善 (Action)

2025年度 方向性	下西校区が「防災まちづくり大賞」を受賞したような活動を、他校区においても同様の活動をしてもらい、自助共助の強化を進めていきたい。
------------	--

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
	東京都で開催された防災まちづくり大賞表彰式に参加

事業名	自動体外式除細動器（AED）購入設置事業
-----	----------------------

総事業費	13,784 千円
------	-----------

① 計画（Plan）

長期振興計画 の位置づけ	施策名	防災・危機管理の充実
	基本事業名	自助・共助の強化

② 実施（Do）

事業の意図		「AED の適正配置に関するガイドライン」を参考に、遠隔地における心停止から5分以内にAEDにアクセスできる環境を早急に構築し、心肺停止者となった市民の救命率の向上、早期の社会復帰率の向上を目指す。
事業の実績 と成果	取組内容	遠隔地等の公共性の高い施設等へAEDを設置し、設置場所の公表、貸出しを通じ遠隔地においてもAEDへアクセスしやすい環境を作るとともに、AEDの使用法を含む心肺蘇生法の教育訓練を消防署と連携しながら行う。
	成 果	AEDへアクセスしやすい環境として、各校区の区長事務所並びに市が運行する車両（スクールバス、マイクバス等）や、既設の公共施設のAED管理を一元化することで、各課事務の軽減が図られた。AEDを用いた心肺蘇生の訓練も消防署と連携し実施した。

③ 振り返り（Check）

事業実施上の課題 （事業担当者記入）	一元管理することで各課の事務軽減にはなっているが、財産監理課管理・登記係での一元管理事務が増加し、職員への事務負担は増大している。
評価結果の根拠 及び今後の課題 （担当課長記入）	救命率向上という市民の安心安全に直結する事業である。 初年度（令和6年度）において、計画通り実施できた。 次年度以降も引き続き、設置を行っていく。

④ 改善（Action）

2025年度 方向性	設置場所の明示化を図る。
------------	--------------

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明
 AED本体 収納ケース 車載ホルダ	令和6年度実績 本体40台（各校区区長事務所、学校等の公共施設） 車載ホルダ8台（スクールバス、市街地循環バスほか） 収納ケース15個（屋外設置用）